

上旬 (10 日前後) : 午後 9 時ごろ
下旬 (25 日前後) : 午後 8 時ごろ

日の出	日の入
1日 5:10	19:22
15日 5:08	19:29
30日 5:12	19:32

(久留米市)

梅雨に入り、曇りや雨の日が多くなる季節を迎えました。星空を見上げる機会は少なくなるかもしれませんが、厚い雲の向こうでは、まだ春の星座たちが美しく輝いています。

春の星座を探す目印となるのが、北の空に浮かぶ**北斗七星**です。北斗七星は、7つの星が描くスプーンのような形の星の並びです。このスプーンの持ち手のカーブをそのまま南へと延ばしていくと、オレンジ色に輝く**うしかい座**の1等星**アークトゥルス**や純白の光を放つ**おとめ座**の1等星**スピカ**を見つけることができます。アークトゥルスからつながるネクタイのような星の並びが**うしかい座**、スピカからつながるアルファベットの「Y」の字の星の並びが**おとめ座**です。北斗七星からアークトゥルスを経て、スピカへと至るこの壮大な夜空の弧を『**春の大曲線**』と呼びます。

さらに、アークトゥルスとスピカ、そしてもう一つの星、2等星の**デネボラ**を結んでできる大きな三角形が『**春の大三角**』です。デネボラは「ししのしっぽ」を意味しており、ここには**しし座**を見つけることができます。しし座を見つける際は、1等星**レグルス**からつながる、「？」マークを裏返したような星の並び、『**ししの大鎌**』を目印にすると分かりやすいでしょう。

美しい満天の星に出会える夜が貴重な時期ですが、梅雨の晴れ間がのぞいた夜には、ぜひこの『**春の大曲線**』と『**春の大三角**』を頼りに、夜空を彩る春の星座たちを探してみてください。

《6月の天文カレンダー》

日	曜	天文現象	日	曜	天文現象
8	月	☾ 下弦 (19:01)	22	月	☽ 上弦 (6:55)
15	月	● 新月 (11:54)	30	土	☉ 満月 (8:57)
21	日	夏至 (久留米市の日の出 5:09 日の入り 19:31)			

【惑星の見え方】(☆マークは、今月のおすすめです。)

水星 (-0.5~1.1 等級)	: ふたご座付近	観望に適さない。
☆金星 (-4.0~-4.1 等級)	: ふたご座→かに座→しし座	日の入り後、西の空で輝く。
火星 (1.3~1.4 等級)	: おひつじ座→おうし座	日の出前、東の空で輝く。
木星 (-1.9~-1.8 等級)	: ふたご座→かに座	日の入り後、西の空で輝き、 下旬にかけて低空に位置する。
土星 (0.9~0.8 等級)	: くじら座→うお座	日の出前、東から南東の空で輝く。

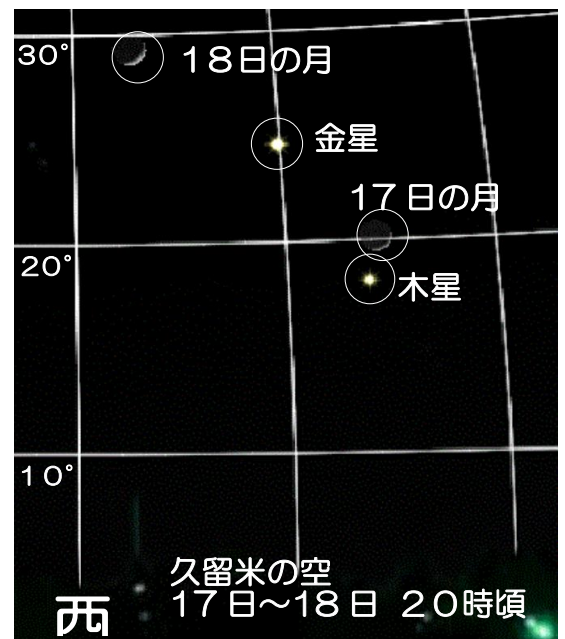
注目の天文現象 (6月) ~月と金星・木星の接近を観察しよう~

6月の夕暮れ時、西の空では明るい金星や木星が輝いています。17日と18日はそこに細い月が加わり、さらに美しい情景が広がります。

17日には、月齢2の月が-1.8等級の木星に接近します。宵の空で存在感を放つ木星と繊細な月が並ぶ様子は、たいへん見栄えのする天文現象です。

続く18日は、月齢3の月が-4.0等級の金星より高い位置に見えます。高い方から月、金星、木星と斜めに列をなす姿を観察できます。

一番明るい金星を目印に、宵の空を彩る天体の配列をお楽しみいただけるでしょう。



【ステラナビゲータ 11/株式会社アストロアーツ】

《天文イベントのご案内》

☆星と音楽の夕べ ~七夕コンサート~

7月4日(土) 18:30~20:00 (18:00開場) 要予約

- 主催: 福岡県青少年科学館、(公財)アクロス福岡
 - 対象: 小学生以上 (小・中学生は保護者同伴、未就学児の入場はご遠慮ください。)
 - 定員: 230名
 - 参加費: 一般620円、児童・生徒310円
 - 予約: 6月4日(木) 9:30から、オンラインにて先着順に受付を開始。
- 星空解説とコンサートをお楽しみいただけるイベントです。

第1部 イベント限定の星空解説 第2部 ヴァイオリンとピアノによる生演奏



○オンラインでの予約受付について

ご予約用QRコード

- ・イベントのご予約は右のQRコード、または当館ホームページよりお願いいたします。
- ・ご不明な点がございましたら来館またはお電話にてお問合せ下さい。(☎0942-37-5566)

